

【近畿農政局長賞：地域の平均単収からの増収の部】 吉田農園株式会社（滋賀県長浜市）

品種	作付面積	単収	地域の単収との差（地域の平均単収）
北陸193号	約10.6ha	650kg/10a	151kg/10a（499kg/10a）※ ※作況補正後の地域の平均単収

【経営概況】

- 平成28年に法人化。主に主食用（無農薬栽培）、飼料用米を生産し、播種、田植などの生産から収穫・乾燥調製までを法人内で行っている。経営面積 41.9ha
- トラクター4台、田植機2台、コンバイン1台、乾燥機3台を所有、29年から作業の効率化を図るため、計量器（フレコン用）を導入。

【作付品目】

- ・主食用米：無農薬コシヒカリ、
無農薬夢ごち、
古代米等 25ha
- ・飼料用米：北陸193号 10.5ha
日本晴 3.8ha
- ・野菜：ブロッコリー 3.0ha

【取組のきっかけ】

- 平成23年から主食用米の品種である日本晴で取組を開始し、出荷先の商系事業者（米・資材卸）の薦めもあり、28年産より、倒伏に強く、多収である飼料用米専用品種の北陸193号の作付けに取り組む。
- 北陸193号がこの地域の栽培条件に適しており、収穫量が確保できたことから経営の安定化を目指し、28年産約3.6haから30年産では約10.6haと大幅に拡大。

【取組概要】

- 定植後から収穫1ヶ月前まで葉色カラースケールにより葉色レベル4を切らないよう追肥の管理を徹底。
- ほ場ごとに作業記録を一覧表に取りまとめ、水田の特徴を把握し、肥料の量、追肥の時期、単収等の分析を行い、栽培に活用。
- 生産コスト低減の取組として、施肥は元肥として緩効性肥料を1回（40kg/10a）、追肥として化成肥料を2回（20kg/10a）、単肥（硫安）を2回（15kg/10a）と安価な肥料を施用。
- 防除は省力化のため、育苗箱施用剤を使用。北陸193号は分けつが良く雑草が生えにくいいため除草剤は1回のみ使用。
- 飼料用米の作付ほ場を固定し、他品種との混入を防止。



滋賀県



長浜市